

KASAI データバンク H22.7.31 現在 (前月比)	人口 / 48,186 (-29)	世帯数 / 16,971 (+28)
	男 / 23,465 (-6)	女 / 24,721 (-23)
	7月の出生数 / 21人	死亡数 / 37人



▲設計から施工まですべて学生達が建設した田原駅の新駅舎

北条鉄道田原駅の新駅舎がボランティアにより完成

北条鉄道の田原新駅舎がボランティアの大学生たちの奮闘により完成し、同駅で7月28日、式典が開かれました。

大学との連携により、鉄道再生を進めようという中川市長の呼び掛けに応じ、ものづくり大学(埼玉県行田市)で木造建築を学ぶ上田晃弘さん(加西市出身)と友人3人が、昨年からの加西市に何度も足を運び準備を進めてきました。

新駅舎は、鉄道の線路をイメージしたパーゴラと待合室から構成、檜の間伐材を活用して建設コストの低減にも工夫されています。パーゴラは、今後、加西ぶどうの藤棚など環境に配慮したものになる予定です。

北条小ガイド隊が「先進事例特別表彰」を受賞

「第9回日本の環境首都コンテスト」で「加西市立北条小学校歴史ガイド隊」が先進事例特別表彰を受賞。7月26日に加西市役所で授与式が行われました。

日本の環境首都コンテストは、自治体の環境問題への取り組みを評価するもので、その一部門「先進事例特別表彰」に、地域の名所を観光客に案内する北条小ガイド隊が、持続可能な地域社会づくりへの取り組みとして評価され受賞しました。

8月24日(火)には、尼崎市で開催される同コンテスト先進事例発表会で市ふるさと営業課の吉川雅人(観光担当)がその取り組みを発表します。



▲表彰された北条小ガイド隊メンバー

少年消防クラブ防災体験教室

正しい防災知識を身につけてもらおうと、加西市少年婦人防火委員会が毎年夏休みに開催する「少年消防クラブ防災体験教室」が7月29日開催され、市内小学校5・6年生89名が参加しました。

参加者は、梯子車・消防車の見学、消火・放水体験、煙の中を通り火災時の避難方法を習得する煙体験、高さ7mに張られたロープを渡る救助訓練などを行い、救急隊の模範演技に歓声を上げながらも、実際の訓練の厳しさを体験し、普段からの防災意識の大切さを学びました。



▲ロープ渡り、登る救助訓練

宇宙アサガオが咲いたよ

北条南保育所で、この夏「宇宙アサガオ」が咲きました。このアサガオの種は、宇宙に約9ヵ月間滞在させたもの。実証実験のため種を栽培してくれる方を宇宙航空研究開発機構(JAXA)が募集していました。県内の幼稚園・保育園では北条南保育所など3ヵ所が選ばれました。

7月下旬ごろから開花。児童たちは、毎日水やりなどをして観察を続けています。実証実験は2年間かけて行われ、その間の栽培観察記録はJAXAへ報告されます。



▲大きく花開いた宇宙アサガオ (7/30撮影)

「かさい 夏っ彩 夢フェスタ 2010」開催

今年で2回目となる加西市の夏祭り「かさい 夏っ彩 夢フェスタ」が8月1日、兵庫県立フラワーセンターで開催され、約27,000人の来場者で賑わいました。

まつりのテーマは「環境」と「エコ」。各企業の協力を得て、電気自動車や電動バイクの展示、米から作ったパンを試食するコーナーのほか、浄化装置を使いため池の濁った水を飲料水にして試飲するコーナーも設置されました。大温室前では、友達や家族からの声援を受けながら、34団体がダンスやよさこいなどを披露、ライトアップされたステージで行われた美咲さんのライブもまつりを一層盛り上げました。

フィナーレは、4,148発の打ち上げ花火。内陸部では非常に珍しい水上花火の演出もあり、夜空に咲き誇った大輪の花に観客からは大きな歓声や拍手があがりました。



▲34団体が出演したステージパフォーマンス



▲米の消費拡大に。三洋電機新製品「GOPAN」で作った米パンの試食会



▲フィナーレを飾る4,148発の打ち上げ花火



▲環境とエコに一役。ミスト冷却で涼をとる来場者



▲手打ちそばや多国籍料理、地元産品などで賑わう、かさい満載市場



▲㈱ウェルシィ提供の災害時非常用浄水装置を使い、ため池の水を飲料水にして試飲



▲サマーナイトイルミネーションと花火



▲環境への意識啓発。(㈱淀川製作所の電気自動車「Meguru」の展示試乗



▲各国の味と音楽を楽しめた国際屋台村



▲美咲さんのライブ。癒しのステージ



▲毎年出場。恒例のファイヤーダンス